

私の家から見える早川

箱根の森小学校 四年 神谷 希歌

私の住んでいる家は、早川の近くにありますが、だから、早川のまわりの季節が変わっていくようすがよくわかりません。

春はさくらが土手いっぱいにさいてとてもきれいです。夏の初めごろには、ホテルが飛んでいます。秋は、こうようがとてもきれいです。冬は、雪景色がきれいだし、山の大字がくつきりと見えます。

私は箱根に住む前は、京都に住んでいました。その時よりも、季節の変わり方がよくわかるので、自ぜんをより感じられると思います。だから私は早川を見るのが大好きです。

四季の中でとくに夏が好きです。初夏のころに早川を飛んでいるホテルは本当にきれいです。早川にホテルがたくさんあつまって飛んでいるところも見たことがあります。

次に私が好きなのは秋です。早川のまわりの木が赤や黄色になって、こうようがどれもきれいです。それを見ると「秋がきたなあ。」って思うので、こうようを見るのが好き

です。

私は、このきれいなかんきょうがずっと続いてほしいなと思っています。そのために、自分にできることは何かあるか考えてみました。そして、ごみがあると自ぜんがきれいじゃなくなってしまうと思いました。

私は今、四年生の社会科でごみについての学しゅうをしています。ごみのことをたくさん知れば、自分ができるところがわかると思います。だから、社会科のごみについての学しゅうをがんばり、私の大好きな早川をまもっていききたいです。